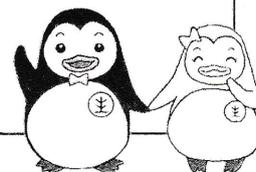


知多更女だより



愛知県知多警察署長あいさつ

元愛知県知多警察署長 浅岡 俊一

知多市更生保護女性会の皆様には、日頃から更生保護活動にご尽力いただき、深く感謝申し上げます。

従来警察では、一人でも多くの犯罪者を検挙し、一人でも多く無謀で悪質な交通違反者を摘発することに力を入れて活動してきました。

しかし、最近はその考え方も少しずつ変化してきています。具体的には、犯罪者を徹底して検挙することは何ら変わりありませんが、それと並行して一度犯罪を犯した者が再び犯罪を犯さないよう、また今にも犯罪を犯しそう、あるいは犯罪の被害者になりそうな青少年少女に積極的に声を掛け、悪事に手を染める直前で思い留ませる少年補導活動など『強く、そして優しい警察活動』を積極的に展開しています。

近年の犯罪傾向は、被疑者の高齢化、逆に低年齢化、女性の増加、再犯率の高さが顕著に見られます。中でも再犯率の高さは深刻な社会問題となっています。

私ども知多警察署では、更生保護活動にご尽力されている皆様方と連携し、積極的に更生保護活動に携わりたいと考えています。

皆様方の日頃の活動の中で警察のサポートや連携が必要とお考えの場合には、いつでも、お気軽に「こんなことをしてもらえないか」とお声掛けください。

最後になりますが、知多市更生保護女性会の今後益々のご発展と、会員の皆様のご健勝及びご多幸を心から祈念して知多警察署長のあいさつとさせていただきます。



「皆様に感謝」と充実した活動をめざして

知多市更生保護女性会会長 山本 時子

早いもので会長就任から全力疾走で来たような、あっという間の一年でした。

各機関の方々はじめ、役員・理事の皆様のご温かい励ましと、思いやりで無事終えることができました。

また、会員の皆様には日頃から更生保護女性会の活動にご理解、ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

新年研修会では、林住職のDVD視聴は大好評で皆様から「よかった」との声や、最後のアンケートでは感想や貴重な意見をいただきました。これからも皆様の声を大切に、こうした新たな取り組みにも挑戦し、学びの場を広げていきたいと思っております。

会員の高齢化や減少の危機もありますが、更生保護女性会の三つの柱「更生保護活動」「非行防止活動」「子育て支援活動」を軸に『ほっとけない精神』でみんなで頑張りたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

「東部地区のミニ集会に参加しての感想文」 令和5年7月5日

刑法犯少年検挙補導数が増加傾向にあるとのことですが、世の中が便利になり豊かになれば、いいことですが当然リスクも生じます。もちろんいいこともたくさんありますが、人間楽をすると欲も出てきます。努力しないで欲を出すと悪い道に進む人が出てきます。それがスマホのオレオレ詐欺の仲間に簡単に入ってしまい、弱い立場の人たちを苦しめています。

また、集団リンチ。言葉を耳にするだけでゾッとします。数年前の事件で、寒い日に不良グループに集団リンチを受け、川で泳がされて亡くなることがありました。どんなに辛い思いをして亡くなったかと、今でも寒い日にお風呂に入る時は頭によみがえり心が痛みます。罪を犯した人は、家庭環境に問題があったのではと思うと、逆に犠牲者かもと気の毒に思います。でも、どんな時代でも「良いこと」「悪いこと」の区別だけは、幼少期から家庭で教えて頂きたいですネ。「三つ子の魂百まで」「お金は汗水たらして得るもの」と昔から耳にしています。

高校生、中学生、小学生たちが長い夏休みに入ります。夜遊びに出かける子どもが例年います。学校、地域と連携して犯罪に巻き込まれないよう、しっかり見守っていかなければいけませんね。

「子どもは地域の宝です」

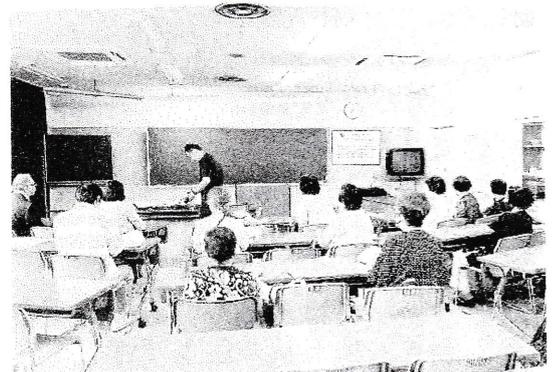
警察官、保護司の方のお仕事の大変さをあらためて認識しました。

「東部地区のミニ集会に参加して」 令和6年7月11日

「広報ちたです。知多警察署からです。特殊詐欺の…」の放送がたびたび流れてきます。他人事ではありません。知人の高齢の方が詐欺被害に遭い「70万円やられました」と当人から聞きました。用心深く知識の豊富な方ですが、そのようなことはあまり関係なさそうです。詐欺犯の手口が巧妙で、気が付いた時にはお金を振り込んだ後でした。この歳になって高い授業料を払ってしまったと、反省をしておられました。講話内容が詐欺等犯罪情勢と防犯活動でした。

自然災害が多く大変な生活をしておられます方が多い中、パワハラだの、セクハラだのと、訳のわからないニュースが多い昨今。これから先、日本(地域)を担ってくれる子どもたちへの影響が心配されます。

保護司さんも大変な役割を担っておられます。心豊かに生きられる、非行を生まない地域づくりに向け、まず自治会の皆さんと声を掛け合い、微力ながらできたらと願っています。



「一日研修に参加して」

竹内 英子

令和6年10月22日、豊橋刑務支所参観の一日研修に参加しました。施設参観は午後のため豊川稲荷を参拝し豊橋で昼食を済ませ目的地に到着。バスを降りた訪問者20名は施設職員の方に笑顔で迎えられ案内された部屋で『犯罪に戻させない安全で安心な社会を実現するために』①豊橋刑務支所について②刑務所ってどんな所？③豊橋刑務支所の今、の資料を頂き、その資料に沿って説明を受けた後、施設へと移動です。



一つ目のドアを鍵で開けると鉄格子のドアが見えました。そのまま皆で通り過ぎることはできず2回に分けて施設に入ります、との言葉に意味がありました。同時に2ヶ所のドアを開けることはできません。1ヶ所開けたら閉める鉄則でした。また、施設から出る時には鍵では開かず、職員さんの手の甲(静脈)を読み取らせると開くシステムになっているとのことでした。

敷地周りは高い壁で囲まれ、上部には鉄線が張られていましたが、中庭に植えられているキンモクセイの花の香が季節を知らせて、受刑者も心休まると思いました。

生活面での設備・医療設備も整えられ、日課も規則正しい生活で、作業は朝8時~10時、30分運動後作業に戻り、12時には昼食、12時40分から作業と、思った以上にゆったりとした日課でした。

また、社会に復帰した時困らないように一人一人に合った作業も選ぶことができ、職業訓練指導がされるそうですが、受刑者の高齢化が進み、豊橋刑務支所156名の平均年齢が53.2歳で、再犯者で3回入った人が半数を示すそうです。令和7年から再犯率を下げる目的で刑法の一部改正があるようです。

一人一人の性格も経験も違いますが、加害者になってしまった人は、やはり被害者のことを考え反省をして、受刑中に指導されたことを生かして社会に復帰し、再犯しないで頑張ってもらいたいと願うばかりです。私自身も加害者にならないように、また、被害者にならないよう生活したいと思いました。

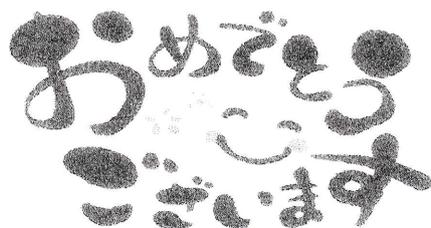


令和6年度 被顕彰者

中部地方更生保護女性連盟会長表彰 久保 淳子

名古屋保護観察所長感謝状 鈴木 尚子

愛知県更生保護女性連盟会長表彰 平野 靖子
伊藤 桂子



「更生保護制度施行75周年記念 第28回中部地方更生保護大会」

久保 淳子

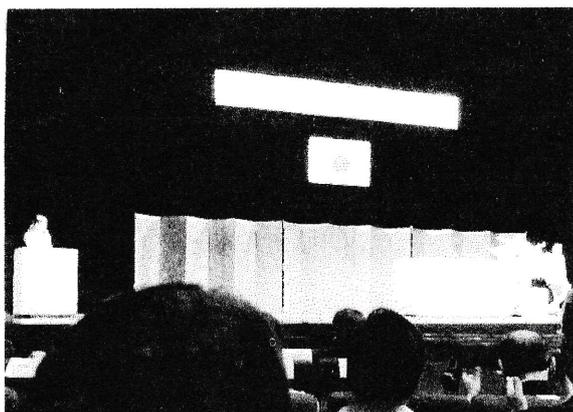
令和6年11月6日、富山市芸術文化ホール(オーバード・ホール)で、第28回中部地方更生保護大会が行なわれました。

当日は、7時45分名古屋駅集合で、29名の県内の更生保護女性会の方々と一緒にバスで富山まで行きました。一番遠い新城の会員の方は朝3時起きだったそうです。富山は、知多市の最低気温が最高気温ということで寒さ対策をして行きました。

大会は、俳優の室井滋さん(富山出身)の記念講演会から始まり、顕彰者の発表がありました。

私は中部地方更生保護女性連盟会長表彰をしていただきました。

受賞者は、保護司・更生保護女性会・BBS・協力雇用主・更生保護推進協力者などいろいろな組織でさまざまな活動をされている方々でした。



とても刺激を受け、また身が引き締まる思いでした。在籍年数が長いというだけで表彰していただき、身に余る思いです。

更女の活動は地味でなかなか皆に周知されていないのが悩みです。知恵を絞り合い、人に知ってもらえるようにしたいと思います。

他地区の更女会との交流を持ちながら、良い刺激を受け、知多市更女会に新しい風が吹く居心地のよい会になりますように。

立正園もちつき大会に参加して

林 知子

令和6年11月24日、守山更生保護施設立正園のもちつきに参加しました。初参加の私は「怖い園生がいたら…」とドキドキでしたが、明るく素直な人ばかりでした。

もち米を蒸している間に豚汁を作り、もちつきが始まると「ヨイショ！ヨイショ！」と掛け声がかかり盛り上がりました。近隣の方もお招きし、約100名にお餅や豚汁、手作り漬物がふるまわれました。皆さん、和気あいあいと楽しい時間となりました。

また他の地区の方々と情報交換もでき、とても有意義な一日でした。



5市更生保護女性会交流研修会

伊藤 つな子

令和6年11月26日、知多市勤労文化会館に半田・常滑・東海・大府・知多の5市更生保護女性会代表が集まりました。

まず、西知多総合病院看護局看護師長・東田ひろみ様に「のみこみ体操」を教えてもらいました。健康に、人生長く、楽しく物を食べ続けるために、のどを鍛える。歯でよく噛み、声を出すことが大事だと思いました。

後半は、5つのグループに分かれて話し合いました。新会員の声かけ、更女の活動をいかにして伝えるか？各地区でしていること、したいことなど。

新しい会長のもと、大きな交流会が楽しくできました。良かったです。



研修会に参加して

日紫喜 智子

令和7年1月27日、知多市更生保護女性会新年研修会に参加させていただきました。

今回の研修は、南蔵院・林覚乗住職の講演収録ビデオ『おかげさま』を視聴しました。笑いもあり涙ながらの内容にとっても考えさせられることばかりでした。

いくつかのお話がありましたが、まず「感謝の気持ちがなくなっている」ということ。知識をつけることだけではなく「ありがとう」の思いを持って生きていくことの大切さ、人と人との出会い、人はそれぞれ大切な役割で生きている。人に喜びを与えられた時ほどうれしいことはないでしょう。

住職のお話の中で、「親のいない幼子が、ある時、有り合わせの空き缶と空き箱でお母さんの仏壇に見立て野辺の花を飾り手を合わせている姿を見て、誰かに教えられた訳でもなく母をしのびまつる気持ちが育っていることが尊いこと」とおっしゃっていたのが心に響きました。



*** 編集後記 ***

新しい体制の後、更女だよりを発行できて、ほっとしています。
原稿をくださいました皆様、ありがとうございます。

発行責任者： 山本時子

編集委員： 伊藤澄子 太田仁美 伊藤つな子 石井和子